

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	12 翁長学	久米島沖の海洋資源で、経済活性化を。	<p>国では、新沖縄戦略を10月にも、と新聞に掲載されていた。その中で海洋資源で、離島振興と謳われている。</p> <p>久米島沖では、金属鉱物等の資源が発見された。研究開発の拠点作りを視野に入れ、将来に向けて本町がどう考えていくのか伺いたい。</p>	町長	<p>海底熱水鉱床開発に関して、経済産業省では海洋基本計画に基づき平成30年度に経済性の検討、30年代以降に民間企業が参画する商業化を目指したプロジェクトを開始する計画です。久米島沖は鉱物資源の埋蔵量が有望とされていることから、国の海洋資源研究開発機関及び沖縄県と連携をとりながら、近ぼうにある久米島町が果たせる役割、経済効果の有無を明確にしていきたいと考えています。</p>	プロジェクト推進課
2	12 翁長学	勾配抑制工事について	<p>宇江城地内で、勾配抑制工事が行われ工事完了地では、赤土流出が抑制され、又、農産物の栽培がプラスになっている。今後の計画は。</p>	町長	<p>本事業は、水質保全対策事業久米島第3地区として沖縄振興公共投資交付金事業で国75%、県15%、町10%負担の県営事業として実施しています。事業計画としては、平成23年度～平成32年度までの10年となっています。工種は、排水路工=7,000m、沈砂地工=4基、勾配抑制工=7.6基、法面保護工=2,200mの計画となっております。</p>	建設課
3	2 盛本實	入島税の導入について	<p>沖縄県の離島の中では、環境協力税と称して入島税を導入している自治体があるが、本町も環境美化、環境保全、観光施設の維持整備を図る上からも入島税制度を導入する計画はないか伺う。</p>	町長	<p>ご指摘のとおり県内の離島において平成17年4月、伊是名村が最初に導入し、伊平屋村が平成20年7月、渡嘉敷村が平成23年4月に導入しております。この3村の環境協力税は法定外目的税として環境保全と観光施設の維持整備費に充てることを目的としております。船舶等により島へ入域する行為を課税客体として、村民を含め入域する者を納税義務者とし、税率は1回の入域につき100円を特別徴収の方法で徴収しております。また、法定外目的税は導入の際の手続きとして総務省との事前協議及び同意が必要となりますが、座間味村においてはすべての手続きを終えて今年4月から、県内4例目の導入というこ</p>	税務課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3					とも聞いております。本町におきましては導入計画はございませんが、今後の住民意識の動向及び財政状況等を勘案しながら判断したいと考えております。	
4	2 盛本實	観光産業の振興について	平成30年度施政方針で観光産業の振興においては、現状の久米島は自然、歴史・文化など多くの観光資源が活用されていない状況にある。久米島の魅力を伝えられる民泊を含めた体験型観光を推進すると謳っているが民泊事業の現状と今後の計画及び体験観光ガイド・講師等々の現状について伺う。	町長	民泊については、受入民家が39件、うち1件が申請手続き中となっております。体験プログラムは、島の学校14種、島あっちい17種、計31種となっております。体験メニューの講師は、島の学校9名、島あっちいが18名、計27名となっております。本町においても、体験型観光の持続及び修学旅行の誘致、久米島の環境を活かしたプログラムの充実を図るため、観光協会への継続的な支援が必要だと考えております。	商工観光課
5	2 盛本實	職員育成について	本町では毎年沖縄県庁、沖縄総合事務局、内閣府に職員研修を実施しているが、その目的、効果、今後の計画について伺う。	町長	久米島町では、毎年県や国の機関への職員の実務研修派遣を実施しています。実務研修派遣は、職員の資質の向上はもとより、町の施策課題への効果も考慮して派遣先を決定しており、派遣から復帰した職員は様々な実務経験により得た知識や技術で、帰任後に大きな成果を上げております。30年度は昨年度に引き続き内閣府本庁への派遣に加え、沖縄県総務部東京事務所への派遣も予定しております。	総務課
6	9 棚原哲也	政策参与の配置について	現段階で見識を持った有能な人材の候補があるのか？	町長	平成30年度より、プロジェクト推進課に、重要課題の解決や事業推進を目的に、政策参与の配置を計画しています。人材については、国・県等との調整業務にも適した県職OBの配置を検討しています。	総務課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	9 棚原哲也	元町職員の横領事件について	横領事件の前回未確定分とされていた損害金の金額については現段階でどれくらいの金額があがってきているか？	町長	このたびの横領事件では、一般会計と久米島さとうきび振興協議会で合計約4,400万円の損害額が確定しています。 今議会で、さとうきび振興協議会への損害賠償金の決定及び損害賠償請求の訴えの提起に関する議案を、追加議案として上程する予定です。	総務課
8	3 平良弘光	農道整備について	宇江城城原の一部農道が大雨が降るたびにコーラルが流され、凸凹の箇所があり牧草等を積んだ車両の通行に支障が出ている。	町長	質問箇所の里道現場を確認したところ、里道の奥側にサトウキビ畑があることから、関係課と協議のうえ、凸凹箇所を再生材で補修対応したいと思います。	建設課
9	3 平良弘光	儀間ダムについて	儀間ダムが満水により、上流部分にどのような影響があるか調査をする必要があるのでは無いか。 (満水時に上流にある畑の一部が崩落の危険がある) 関連事項として、町管理の貯水池の管理について比嘉池に通じる農道が荒れ放題の状況になっているが管理に支障はないか。	町長	儀間ダムの満水による影響調査については、平成26年2月7日から平成27年3月末の間に供用開始に向け試験的にダム貯水池の水を最高水位まで入れ貯留後、最低水位まで下げることにより、ダム本体及び貯水池周辺等の安全性を確認する目的の試験湛水を実施しており影響は無いと考えております。 比嘉池堤体道路については、比嘉池が儀間ダムの流域でもあり、仲里土地改良区の取水や上下水道課の緊急時対応水など利用目的が多岐にわたることから三者で協議し管理や除草について検討していきたいと思っております。	上下水道課 建設課
10	3 平良弘光	松の植林について	久米島の業者から沖縄県緑化種苗組合に松の木の苗について問い合わせがあったという話をききました。外部から久米島への持ち込みが可能なのか。	町長	沖縄県松くい虫の防除に関する条例及び久米島町への松の伐採木等の移動の制限に関する条例により、松の伐採木等の移動については届けが必要です。 松の苗木の移動についての規制はありませんが、公共事業については、島外からの松の持ち	環境保全課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10					込みは行っていません。	
11	3 平良弘光	サトウキビ振興協議会の事務移管について	現在産業振興課内にあるサトウキビ振興協議会の事務を、JA久米島、久米島製糖株式会社と協議をし再度調整をする必要があると思うが 関連事項として平成30年度については、予定通り国からの補助金が活用できるか。	町長	久米島さとうきび振興協議会の事務局については、構成団体が輪番制で担当できるか継続審議となっております。今後も協議会で引き続き協議してまいります。 補助事業については、従来通り沖縄県病害虫防除技術センターから病害虫発生予察注意報が発表されましたら、補助事業が活用されます。	産業振興課
12	3 平良弘光	牛の処分について	本町でも畜産の生産力が右肩上がりとなっていて、頭数も増えてきています。それに伴って、病気やその他の理由により、死亡する牛の頭数も増えてきています。その処分場の必要性についてどう思うか。	町長	家畜の死骸は廃棄物の処理及び清掃に関する法律と化製場等に関する法律で適切に処理しなければならない。とされており。久米島町には、現在その処理できる施設がございませんので、久米島町食肉センター施設建設検討委員会の中で屠畜場の整備時に併せて整備出来ないか協議を行います。	産業振興課
13	8 喜久里猛	民泊のあり方について	久米島の民泊数と受入可能人数は、何人か。29年度受入数と30年度受入数はどうなっているか。 民泊部門は、観光協会のどの位置にあるか。 商工観光課・観光協会・民泊部門が新規(30年度)の受入で営業はしたか。	町長	観光協会に確認したところ、平成30年2月現在、民泊を受け入れる民家の登録件数が38件、受入可能人数は381名ですが、申請中の軒が追加されると、39件となり384名の受入が可能とのことでした。受入実績については、1,082名との報告がありました。また、平成30年度における修学旅行の予約件数は7校となっております。うち民泊及び民宿利用は1校となっております。 民泊の受入は、観光協会の業務として位置づけられております。観光協会においては、日常的な観光案内や観光事業者への対応、誘客活動のほか、主な事業として離島活性化促進事業、修学旅行及び民泊、島の学校、アレルギー対	商工観光課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13					<p>応、空港案内など各業務に担当者を配置して取り組んでおります。</p> <p>平成29年度に実施した営業活動は、県外において修学旅行や体験型観光の商品など観光協会が実施しております。町においては、観光協会から町職員の同行が効果的だとされる訪問先について同行するようにしております。</p>	
14	8 喜久里猛	久米島西中学校の制服について	久米島町立の中学校で、制服に値段の差はないか。あれば、その理由は何か。見直しの必要はないか。	教育長	<p>制服の値段差としましては、夏服・冬服合計で男子の制服で西中が6,800円、女子の制服でも西中が9,350円程高くなっています。</p> <p>主な差としましては、西中男子は、冬服の長袖シャツとズボンが主な金額差となっています。</p> <p>女子の場合は、冬服の西中のブレザーと球美中のセーラー服との金額が主な差となっています。</p> <p>中学校の制服につきましては、開校準備委員会を立ち上げその中で決定しており、見直しについては、それぞれの学校で生徒、保護者の意見をもとに決定すべきものであると考えます。</p>	教育課
15	8 喜久里猛	新しい農産物の共済について	イモ・ジャガイモ・ラッキョー等、新しい農産物が増えてきているが、農家が安心して生産出来る様に、共済制度が必要ではないか。	町長	<p>農業共済制度は、農業災害補償法で被害の一定割合を補償することを定めた法律となっております。沖縄県での畑作物共済対象品目は、さとうきびとなっております。現在、甘しょ・ジャガイモ及びラッキョー等は沖縄での対象作物に入っておりません。農林水産省に問い合わせたところ、新たな作物の追加には政令の改正が必要と回答がありました。</p>	産業振興課
16	5 吉永浩	福祉施策について	久米島町において、子育て世代の「共働き」や「ひとり	町長	<p>学童クラブについては、必要だと考えております。6月議会の一般質問でも答弁いたしましたし</p>	福祉課 総務課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
16			<p>親家庭」が多いなか、放課後児童クラブの必要性はないか伺う。</p> <p>保育所待機児童は解消されているか、現状を伺う。また、保育士確保のための方策を強力に推進すべきだと思いが見解は。</p> <p>不審者等の情報について、保育所にもタイムリーに提供されているか。</p> <p>島内で障がい者、障がい児支援を行う方々から上がってくる要望、地域課題。この現場の声に今後どのように答えていくか。</p> <p>人口減少が進む久米島町において、子どもを産み育ててくれる母親は大切だと思う。町のリーダーとして、窓口で直接感謝の気持ちを伝えることを提案したい。町長の考えを伺う。</p>		<p>たが、学童クラブの開所に向けて取り組んでいます。</p> <p>本年度より家庭保育事業を委託し乳幼児の待機児童解消に取り組んでおりますが、現状は待機児童が2名となっております。今年度4月1日時点での待機児童は「0」でありましたが年度途中の利用申込で待機児童が発生しております。要因としては「私立保育園保育士不足に伴い定員割れ・保育面積不足」であります。</p> <p>保育士の確保に向けて公立保育所退職者等への相談・県主催の合同就職説明会等へ積極的に参加し確保に努めております。</p> <p>不審者について注意喚起の必要があると警察が判断した場合にのみ、警察から各学校等に情報提供がされます。保育所については、特に情報提供は行っていないとのことです。</p> <p>本町では、障害福祉サービスの利用できる社会資源が少ないので島内の事業所で難しいなら本島の事業所に委託し、派遣で来てもらうなどできないかとの要望や地域課題があります。今後の対応としては、現場の意見要望等を「障害者自立支援協議会」で協議してまいります。</p> <p>町民課において、出生届を出しに来られた方に、その都度町長が挨拶をするのは、スケジュール上大変難しいと思うので、感謝の気持ちを込めたメッセージカードの配布を検討したいと思います。</p>	
17	5 吉永浩	離島観光・交流促進事業「島あっちい事業」に	平成29年度の島内における島あっちい事業の実績状況を伺う。また、民泊・民宿、	町長	平成30年2月現在の実績については、受入件数40件、307名となっておりますが、3月の募集が計画通りに実施されずと最大61件、490名とな	商工観光課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
17		について	<p>そして離島体験プログラムなど、受け入れ体制の振り返りは行ったか。</p> <p>島の観光経済への波及効果を考えれば、次年度以降、久米島町として沖縄県へ事業の継続を強く要望していく必要があると考えるが、町長の考えを伺う。</p>		<p>る見込みです。受入の振り返りについては去る3月5日に行っており、今後の取り組みについて意見交換がなされております。</p> <p>島あっちい事業は、平成28年度から3年間の予定で実施しておりますので、30年度までの実施は決定しております。3年度以降については、事業成果を踏まえた県の方向性を確認し、状況によっては他離島と連携しながら継続を要望していきたいと考えております。</p>	
18	5 吉永浩	若者の働くを応援する施策について	<p>平成29年度の若い世代の新規就農者の状況、起業支援者の状況はどうだったか。</p> <p>今後、どのように応援していく考えか町長の考えを伺う。</p>	町長	<p>平成29年度新規就農者の給付対象者は、25名となっております。産業振興課における起業支援につきましては、農林水産物を原料とする商品開発費・市場調査費・販売促進費・加工機器整備費等の6次産業化へ取り組む農林漁業者に対し、総合事務局及び沖縄県と協力し支援を行います。</p>	産業振興課
19	5 吉永浩	町長の政治姿勢について	<p>大田町政一期4年間を振り返った総括を伺う。</p> <p>(1)町長が4年前に掲げたマニフェストに一次産業の復活、観光産業の再生、福祉の充実、教育の再生、公共事業の推進、次世代産業の誘致による雇用の創生があった。その6つの柱ごとの達成率、進捗の状況、出来たこと、出来なかったことについて自身でどのように評価しているのか伺う。</p> <p>(2)二期目を目指す大田町</p>	町長	<p>(1)就任からの4年間を振り返り第一次産業の復活においては、農業、畜産業、漁業ともに、80%から85%の達成率であり、特に畜産業の活性化や、甘しょの作付面積の伸びは顕著であります。また、水産加工施設の建設により、水産業の活性化も見込まれています。</p> <p>観光産業につきましては、各種メディアプロモーションによる発信や県外からのチャーター便の誘致により、昨年度には過去最高となる11万人の誘客数を記録し、概ね目標を達成しております。</p> <p>福祉の充実については、難病患者渡航費助成事業の対象者の拡大や、特定不妊治療のための</p>	<p>総務課(総括)</p> <p>産業振興課</p> <p>商工観光課</p> <p>福祉課</p> <p>教育委員会</p> <p>建設課</p> <p>プロジェクト推進課</p>

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
19			<p>政にとって、一期目を踏まえ、どのようなリーダーシップで、町づくりに望む考えか伺う。</p> <p>(3) 無投票選挙をどう考えるか。緊張感をどのように作る考えか伺う。</p>		<p>渡航費の助成、出産助成金の増額、出産奨励金の導入などを行ってきました。また、町民の健康づくりのための健康増進施設(SMAP)を開設したほか、本町で深刻な健康課題となっている糖尿病の解決を目標に、琉球大学と共同でデジタルヘルスプロジェクトを実施しています。</p> <p>教育の再生については、町営塾の開設や図書館建設の着手など学習環境の充実を進めてきたほか、奨学基金や前村基金の活用により、子供たちの進学を支援しております。義務教育の無償化については、就学援助を受けている児童生徒については補助金等の活用により全額無償になりましたが、すべての児童生徒の給食費無償化には至っておりません。</p> <p>公共事業の推進については4年間で約26億円の事業を採択したことにより公共事業は安定的に確保されました。</p> <p>次世代産業誘致については海洋深層水を活用した世界初の陸上カキ養殖事業がスタートするとともに新会社発足で4人が雇用されています。また、新たにアクアポニックスという魚類養殖と野菜等の水耕栽培をセットにした生産工場設置を30年度に計画しており、新たな雇用を含む経済効果が期待できます。</p> <p>(2) 1期4年の基本政策を総括し、新たな6つの基本政策を基本ベースとし、常に町民の声に耳を傾け、町議会の皆様、職員と共に連携を図り行政運営を担っていきます。</p> <p>(3) 選挙となることを想定して立候補に向けて準備をすすめております。</p>	

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
20	5 吉永 浩	横領事件対応の経過について	<p>昨年29年9月議会から、新たにわかった事はあるのか。</p> <p>2期目を目指す町長は、この案件に関して解決に向け、どう向きあう考えか伺う。</p>	町長	<p>昨年の9月議会でも申し上げたとおり、8月の告訴状提出後、新たに平成27年度一般会計ならびに久米島さとうきび振興協議会会計からも不正支出が発覚しました。その後、不正支出に関する徹底的な調査を行った結果、一般会計と久米島さとうきび振興協議会で合計約4,400万円の損害額が確定しました。</p> <p>この件に関しては関係機関と連携して速やかに損害賠償請求を行い、1日も早い損害金の回収に努めるとともに、このような事件が二度と発生しないよう、事務執行体制を強化してまいります。</p>	総務課
21	10 玉城安雄	30年度施政方針について	<p>30年度施政方針の中から何点が質問します。</p> <p>第2次総合計画の将来像（夢紡ぐ島）、内を満たし、外からいざなうことを基本とし、島人みんなで織り上げる未来の実現に向け様々な施策を進めるとしているが、基本構想、基本計画に沿って予算措置して進めているか、その進捗状況、検証結果はどのようにとらえているか伺う。</p> <p>産業の振興の中から、サトウキビの振興については毎年様々な支援策がなされているが、増産増殖に至ってない気がする。その中で昨年のサトウキビ振興協議会運営資金の</p>	町長	<p>総合計画に基づく施策事業については、平成30年度予算要求より基本構想の位置づけや事業計画、成果目標を示した資料により予算計上を行っております。また、現在策定中の基本計画及び実施計画についても同様の項目を盛り込んだ内容としており、今後は事業の進捗・効果を検証し予算に反映させる予定です。</p> <p>さとうきびの振興につきましては、平成29年度も沖縄総合事務局及び沖縄県糖業振興協会の補助事業が例年通り実施されております。町助成におきましても、例年通りの実施となっております。</p> <p>農家の生産意欲の向上につきましては、さとうきびの生産で最も重労働となっているのが収穫作業でございます。平成30年度にハーベスター8台を導入し、機械収穫率の向上により生産意欲の向上にもつながると思われまします。久米島町さとうきび振興協議会への支援につきまし</p>	<p>企画財政課</p> <p>産業振興課</p> <p>商工観光課</p> <p>建設課・上下水道課</p>

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21			<p>横領事件があり、各種助成に支援がでないか、また農家の生産意欲の低下につながりかねないか心配している。農家の生産意欲の向上やサトウキビ振興協議会への支援について今後どのように考えているか伺う。</p> <p>交通の確保から、久米島の観光は、観光振興基本計画に基づく計画的な取り組みにより順調に伸びている状況である。那覇～久米島間の航空運賃の低減については交流人口の拡大のためにも最重要課題であり、沖縄県、沖縄県県議会にも協力要請したところであるが、本町でも実現に向けさらなる行動を起こし積極的に取り組むべきだと考えるがどうか。</p> <p>生活基盤の整備から、農道や道路認定のされていない箇所について各字からの整備要請や、指定区域外の下水道の対策についてどのように取り組んでいくか伺う。</p>		<p>でも、これまで通り支援を行います。</p> <p>交流人口の拡大における交通の確保・充実、運賃の低減は重要な課題であることから、30年度においても引き続き取り組んで参ります。本町においても沖縄県に対し、「球美の島交流促進事業」の継続を求め、調整してきた結果継続することが決定しております。さらに本町においても共同事業として5%上乘せする予定でありますので、決定すれば那覇発往復運賃を対象にした割引率が15%から20%へと拡充されることとなります。併せて、航空会社に対し要請してきた割引運賃の拡充についても特便割引3が新設されることになりました。</p> <p>生活基盤の整備から、農道や道路認定のされていない箇所の質問について、平成25年度に実施した各区長や土地改良区から聞き取り調査した結果に基づき、農業農村整備事業総合計画委託業務を平成30年度に発注し総合計画をまとめた後に県と協議しながら事業採択を目指します。道路認定がされていない里道については、道路台帳の見直し作業に着手し、個別計画を策定し事業採択に向け取り組んでいきます。</p> <p>また、指定区域外の下水道の対策につきましては、平成27年度に久米島町汚水処理施設整備構想策定業務を行っており、公共下水道事業指定区域外の下水道の対策は浄化槽の対応となります。現在、浄化槽は個人対応と考えております。</p>	
22	6 赤嶺秀徳	小中学校普通教室への冷房設置	小中学校の一般教室への冷房の設置については、平成2	教育長	(1)ヒアリングは2月8日に県教育庁施設課において行われ、島内小中学校の普通教室への空調設	教育課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22		について	<p>9年9月議会において吉永議員から、12月議会に於いては、私から質問しました。その様な中、12月議会の答弁で平成30年1月にヒアリングを実施する予定であるとの回答でした。次の2点について伺う。</p> <p>(1) 県とのヒアリングは行われたか。 行われたのであれば、その結果について伺う。</p> <p>(2) 設置する場合、その財源の確保は容易か伺う。</p>		<p>備設置工事の平成30年度、事業申請、平成31年度、事業実施に向けての内容聴取が行われました。ヒアリング結果については、事業申請の基準となる学校施設台帳の普通教室、特別教室の利用状況が異なる部分で若干、修正が必要となる可能性があります。なお、現段階では事業申請するための事業計画のヒアリングであります。</p> <p>(2)財源の確保については、補助率1/2の補助事業を活用して整備することとしており、町負担分の財源については関係課と協議してまいります。</p>	
23	6 赤嶺秀徳	道路環境の整備について	<p>県道、町道あるいは農道を問わず、補修や改修、又は、アスファルト舗装、安全施策等が必要である箇所が多々見受けられるが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 安全対策について ア、儀間集落内の宮平商店から儀間漁港までの間 イ、県道89号から旧久米島中学校までの間 アの区間はパークゴルフ場利用者、イの区間は町福祉協議会への出入り車両が多い区間である。2箇所の区間は通学路や生活道路であることから</p>	町長	<p>(1) ご質問の区間については、徐行区間として設定できるか、標識や看板の設置が可能かなどを警察ならびに公安委員会との調整を進めております。</p> <p>(2) アーラ浜入口のカーブミラーは、防風林内に設置されているため、樹木の伐採が制限されています。そのため、より見えやすい場所への移設を検討していますが、候補移設先も防風林内であるため、できるだけ早く改善できるよう、関係機関と調整を進めてまいります。</p> <p>(3) 県道89号線の具志川庁舎前の交差点については、道路の拡幅や停止線の移動については、現状を確認したうえで、関係機関と調整のうえ、問題解決に努めていきたいと思っております。</p> <p>(4) おばけ坂周辺は、久米島県立自然公園第</p>	<p>(1) (2)総務課 (3) 総務課、建設課 (4) 環境保全課</p>

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
23			<p>徐行等の規制が必要であると思うが、その対策について伺う。</p> <p>(2) 久米島製糖側のアーラ浜入口のカーブミラーの補修について何度も要請しているが、未だに補修がされていない、何時補修するか伺う。</p> <p>(3) 県道89号、具志川庁舎前の交差点は、大型車等がハンドルを切り替えしして左右折をしている状況であるとの苦情もある道路の拡幅や、停止線の移動等の対策が必要であると思われるが、その見解を伺う。(4) 観光地である字具志川のおばけ坂付近の樹木の伐採について町で可能か伺う。</p>		<p>3種特別地域及び普通地域となっています。樹木の伐採については、周辺の自然景観を著しく損なわない範囲で伐採を行うことは可能ですので、町で道路の除草、樹木の伐採を行っています。</p>	
24	6 赤嶺秀徳	防災無線について	<p>現在の防災無線は、設置から20年も経っており、修理の要請を行っても修理ができていない状況である。理由を聞くと、近々、防災無線を入れ替えるとの事から、修理は控えているとの理由の様である。町民の生命と安全を守る視点からも早急に修理と整備が必要であると考えが次の点について伺う。</p>	町長	<p>(1) 町の防災行政無線は旧仲里側で平成11年度、旧具志川側で平成15年度に整備されています。故障が報告された場合はすぐに修理を行っていますが、機種が古いため部品の調達に2ヵ月以上時間を要する場合があります。</p> <p>(2) 現在のアナログ無線は、平成34年までにデジタル化が義務付けられているため、久米島町では平成32年度からデジタル無線への移行を計画しています。</p> <p>(3) 防災無線のデジタル化事業は、防衛省補助による整備を調整中です。</p>	総務課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
24			(1)故障箇所について修理をすることは出来ないか。 (2)新規防災無線を導入する計画はあるか。 (3)導入するとしれば何時頃か、又、その予算の確保は充分行えるか。伺う。			
25	6 赤嶺秀徳	民事事件の進捗状況について	平成29年に発生した町職員による不祥事案の被害回復の民事の部分について、これまでの進捗状況について伺う。	町長	現在、顧問弁護士と損害賠償請求訴訟について準備を進めているところです。 損害賠償請求の額は、一般会計損害額と久米島町さとうきび振興協議会への損害賠償に伴い同協議会から譲渡される債権を合わせた合計約4,400万円になる予定です。 損害賠償の額の決定ならびに訴えの提起は議決事件であるため、今議会で、さとうきび振興協議会への損害賠償金の額の決定と損害賠償請求の訴えの提起に関する議案を、追加議案として上程する予定です。	総務課
26	6 赤嶺秀徳	平成29年施政方針について	平成29年の町長の施政方針がありました。どの様な成果を上げたのか伺います。	町長	平成29年度施政方針に掲げた施策の着実な実現に向けて取り組み、そのほとんどに着手し、推進しているところであります。取り組みの主な成果についてお答えいたします。 総合計画の推進については、町内有志によるまちづくりチームが発足され、官民協働による計画推進に取り組んでおります。 産業の振興については、基幹産業である農業及び水産業を中心に生産拡大に取り組むとともに生産額向上を図っております。観光入域客は平成28年度において1万人に達しました。観光振興計画に基づく計画的な取り組みにより、	企画財政課

平成30年3月定例会一般質問通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
26					<p>平成30年度までに12万人達成を目指します。</p> <p>教育・文化の振興については、念願であった図書館建設に着手いたしました。子供の学力向上の推進にも取り組み、小中学校の全国学力学習調査において、小学校は全国平均を超えるほど向上し、中学校においても年々全国との差を縮め、小中ともに改善傾向にあります。</p> <p>福祉の充実については、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実に取り組んでおります。</p> <p>生活基盤の整備については、火葬から告別式までの一連の葬儀を執り行うことができる火葬場・葬祭場が平成30年度に供用開始します。道路及び下水道整備等の公共工事により、町経済の発展や所得向上に取り組んでいます。</p> <p>消防・防災については、大規模災害に備え緊急消防援助隊の登録を行い受援及び応援体制の確立に取り組んでいます。</p> <p>以上、平成29年度の主な成果を述べましたが、引き続き、町民の皆様が安全・安心に暮らせる社会の構築に取り組んでまいります。</p>	
27	7 仲村昌慧	高校生のバス通学費補助について	<p>県は30年度に経済的に、厳しい高校生のバス通学費の一部を補助する。対象は児童扶養手当を、受給する世帯の高校生としている。</p> <p>本町に対象者は、何名いるか。対象者がいる場合この事業を導入する考えはあるか伺</p>	町長	<p>児童扶養手当を受給している、高校生のいる世帯は48世帯となっております。</p> <p>事業を導入する考えはあるかとのこと質問については、沖縄県は平成30年度においてバス通学費の1/2の額の補助について、平成30年10月から実証事業を行う予定が有ることです。</p>	福祉課

平成 3 0 年 3 月 定例会 一般質問 通告書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
27			う。			
28	7 仲村昌慧	フェリー片道運賃割引について	フェリー片道運賃割引については、町民ニーズアンケートを実施し、結果を元に、沖縄県及び事業者と協議継続中である。と回答であるが、その後進捗状況を伺う。	町長	フェリーの片道運賃について、アンケート結果をもとに沖縄県及び航路事業者と協議を重ねてきた結果、平成 30年 4月 1日から実施する運びとなりました。去る 3月 区長定例会において片道運賃についての概要説明とチラシ配布の依頼を行っております。	商工観光課
29	7 仲村昌慧	山芋スープについて	今年の 1 2 月 2 日に第 1 回山芋スープを予定しているが、大会に向けての取り組みと、年末に視察した読谷村山芋スープチャンピオン大会の感想を伺う。	町長	平成 30年度の産業まつりで山芋・冬瓜・カボチャのマギースープを予定しております。2月に種芋の無償提供の募集をし、9名の方々から申し込みがありました。 担当課長の報告では、各集落単位の勝負や、高齢者の生き甲斐づくりで大変なにぎわいだと聞いております。	産業振興課